



令和4年 (2022) ～1年を振り返って～

令和4年はみなさんにとってどんな1年でしたか？広報郡上では、イベントや叙勲、大臣表彰の受賞、100歳のお祝いなど、多くの出来事・話題を掲載させていただきました。今月号では令和4年の郡上市の主な出来事をふり返ります。

④歴史が息づくまちづくりへ —郡上八幡北町無電柱化整備事業竣工式、 第8回中部歴史まちづくりサミット in 郡上—



①ウイズコロナでのおどり開催 —郡上の踊り3年ぶり開催、郡上おどり400年祭記念事業タイムカプセル開封式、 郡上おどり保存会創立100周年記念式典—



⑤洪水被害の軽減と流水を安定 —内ヶ谷ダム定礎式を挙げる—



③学校規模適正化の推進 —小川小学校閉校式・小川保育園 園閉園式、大和小学校起工式—



②基盤整備の充実に向けて —濃飛横断自動車道「堀越峠工区」 国直轄権限代行の検討調査決定、 濃飛横断自動車道事業促進大会—



① 2月16日、平成33年度に開催された郡上おどり400年祭で埋設されたタイムカプセルが開封され、当時は懐かしむ話で盛り上がりました。また、今年は3年ぶりに「郡上おどり」「白鳥おどり」「白鳥の拝殿踊り」が開催されました。郡上おどり発祥祭と同日の7月9日には「郡上おどり保存会創立100周年記念式典」が開催されるなど、これからの郡上のおどりに向けて、新たな一歩が踏み出されました。

② 3月25日、郡上市から中津川市までを結ぶ濃飛横断自動車道の「堀越峠工区」について、国直轄による権限代行実施の検討を行うための調査を行うことが決定されました。また、整備促進の機運の醸成を図るため、5月14日には、濃飛横断自動車道事業促進大会が開催されました。

③ 3月26日、小川小学校の閉校式と小川保育園の閉園式が行われ、児童・園児が思い出と希望の言葉を語られました。また、10月22日には、大和地域の4校が統合する「大和小学校」の起工式が開催され、体育館や校舎の整備が進んでいます。

④ 5月25日、歴史的な町並みの景観保全や地域の防災を目的に進められてきた「郡上八幡北町無電柱化整備事業」の完了を記念し竣工式が開催されました。また、10月20日には、今後の歴史まちづくりの課題や展望を共有するため「第8回中部歴史まちづくりサミット in 郡上」が開催され、17市町の首長等が一堂に介し意見交換をしました。

⑤ 5月30日、大和町内ヶ谷地内にて県が建設工事を進めている「内ヶ谷ダム」で定礎式が執り行われました。ダム堤体の本格的な築造に際し、将来にわたるダムの悠久の安泰を祈願しました。

そのほか、次のような
できごともありました。



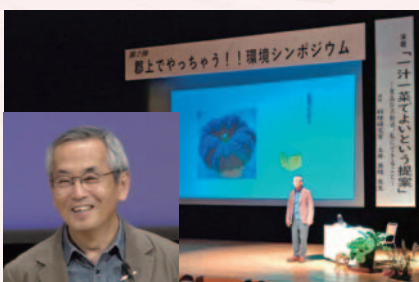
長良川鉄道新車両「おくみの号」出発式
(4/3)



郡上市ゆかりの宇山芽紅選手
演技披露・指導 (8/11)



食の祭典 in ぎふ郡上 2022
3年ぶりに開催 (9/17・18)



郡上でやっちゃう!!環境シンポジウム
(9/25)

⑥安全・安心な給食の提供に向けて
—学校給食「郡上の大地を味わう日」スタート—



⑦デジタルトランスフォーメーション (DX) を推進
—マイナンバーカードで証明書のコンビニ交付、郡上ふるさとコイン運用—



⑧県内地歌舞伎保存会が郡上で熱演
—第29回飛騨・美濃歌舞伎大会ぐじょう2022
気良歌舞伎保存会・高雄歌舞伎保存会 (地域文化功労者表彰受賞) が出演—



⑩コロナ猛威をふるう
—コロナ禍3年目第6波・第7波襲来—



⑨ユネスコ無形文化遺産に登録
—風流踊「郡上踊」「寒水の掛踊」—



⑥ 6月27日、地産地消の推進や安全・安心な給食の提供に向けて、学校給食「郡上の大地を味わう日」が始まりました。市内産野菜等をふんだんに活用したメニューを取り入れており、児童生徒の食や地元への関心・感謝の気持ちの醸成を図ります。

⑦ 10月25日、マイナンバーカードによる証明書のコンビニ交付を開始しました。「住民票の写し」や「印鑑登録証明書」など、市役所閉庁時にも取得することが可能になりました。また、12月1日からキャッシュレス決済システム郡上市電子商品券「郡上ふるさとコイン」を運用開始しました。市内の消費喚起と経済効果の拡大を図ります。

⑧ 11月13日、第29回飛騨・美濃歌舞伎大会ぐじょう2022が開催され、郡上市からは、八幡の高雄歌舞伎保存会と明宝の気良歌舞伎保存会が出演しました。また、永年にわたる地域文化の振興に貢献している団体として、高雄歌舞伎保存会が令和4年度地域文化功労者表彰(文部科学大臣表彰)を受賞しました。

⑨ 11月30日、郡上踊と寒水の掛踊を含む全国の「風流踊」41件が一括してユネスコ無形文化遺産に登録決定となりました。記念セミナーでは、両保存会長の決意表明が行われた後、郡上踊と寒水の掛踊が披露されました。

⑩ 令和4年は、コロナ禍も3年目に突入しました。国内の1日あたりの感染者が、「第6波」では10万人、「第7波」では20万人を超えるなど、過去に経験のない感染拡大が発生しました。ワクチン接種を進めていますが、この冬、「第8波」にそなえ、緩まない感染防止対策が必要です。